

「みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画」 策定後の経過について

2018年6月に、「みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画（以下、再編計画）」を策定しました。

この再編計画に基づき、町田市の公共施設の現状や再編の意義、必要性などについて、より多くの方々に興味、関心を持っていただくため、この度、「公共施設マネジメント情報紙ぷらっと第2刊（以下、情報紙ぷらっと）」を発行しました。

情報紙ぷらっとでは、26の施設機能毎の今後の方向性や、2018年度から2026年度までの9年間に取り組む内容をまとめた「短期再編プログラム」などを掲載しています。

今後も、市民の皆様や事業者の皆様との対話を十分に行いながら、「公共施設・公共空間のより良いかたち」の実現を目指してまいります。



1. 再編計画策定後の経過

- 6月21日 行政報告：再編計画の策定について
- 7月10日 記者会見：再編計画の公表について
- 7月15日 広報まちだ7月15日号：再編計画の策定について
- 7月20日 町田市市民生活連絡会：再編計画の周知について
- 8月1日 「情報紙ぷらっと」発行
- 8月20日 「町田市公共施設等マネジメント委員会」発足
- 9月1日 広報まちだ9月1日号：シンポジウムの開催について

2. 「情報紙ぷらっと」について ***資料1**

発行日：8月1日新聞折込にて、11万3千部配布

内容：1面「町田市の現状」、2・3面「短期再編プログラム」、4面「再編における基本的な考え方」など

3. 「町田市公共施設マネジメントシンポジウム」について ***資料2**

日時：9月30日（日）14:00～16:00

場所：生涯学習センター7階ホール

内容：①基調講演 ②パネルディスカッション

申込：イベントダイヤルへ電話またはインターネット申込（9月26日まで）



みんなで作る 未来の場

ぶらっと

2018年
8月1日号
Vol.2

公共施設マネジメントに関する詳しい情報はこちら(町田市ホームページ)をご覧ください。

発行:町田市 編集:政策経営部企画政策課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
TEL 042-724-2103 FAX 050-3085-3082
ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>

「ぶらっと」には、ぶらっと誰でも気軽に立ち寄れるという意味と、みんなが集い交流するプラットフォームという意味を込めました。本紙は不定期発行です。

みんなで描こう より良いかたち
町田市公共施設再編計画

将来の人々の暮らしやまちの姿はたくさんの可能性に満ちています

全国で公共施設の老朽化が課題になっています。町田市でも、人口や財政状況の見通し、公共施設等の状況を踏まえると、多くの施設を一齐に建替えることは困難な状況です。

2016年3月、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行うための基本方針を示した『町田市公共施設等総合管理計画(基本計画)』を策定しました。これに基づき、計画的に取り組みを推進するために『みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画』を策定しました。計画のタイトルには、みんなでこれからの公共施設・公共空間のより良いかたちを描いていこうという気持ちを込めました。

公共施設の再編という、今までにない長期的かつ大きな取り組みを通じて、将来にわたってそこで暮らしている誰もが地域社会の中で誇りを持ち、豊かに暮らし続けられるまちをみんなで連携して作りたくと考えています。みんなで目標を共有しながら、一緒により良いかたちを描いていきましょう。

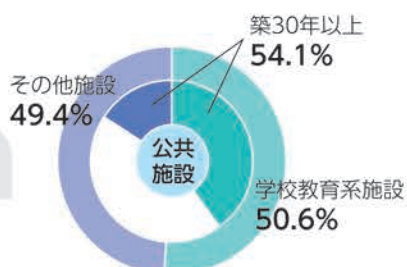
町田市の現状

●公共施設の状況



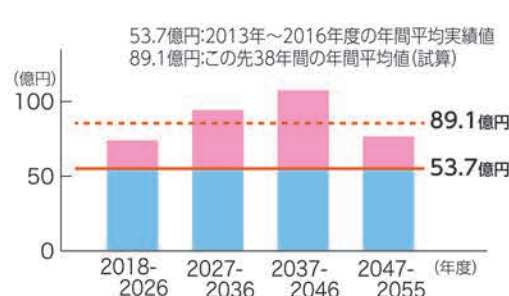
小学校
約138校分の面積

●老朽化が進む公共施設



総量の半数が既に築30年以上を経過し老朽化している。その大半が施設規模の大きい小・中学校です。

●莫大な維持改修費用



今ある建物をすべて維持するためには、現在の約1.7倍の莫大な維持更新費用が必要です。

人口も減るし、ますます財政は厳しくなるから、全てを維持していくことは厳しいね。

時代と共に、私たちの暮らしや価値観も変わるし、これからはどんな公共施設・公共空間がいいのかな。



公共施設・公共空間のより良いかたちを実現する

これからも地域の活力や魅力を維持・向上させるためには、これまでの価値や資源、想いを継承しながらも、時代に適応した将来につながるかたちに変えていく必要があります。これらの公共施設・公共空間では、人のつながりや新たなサービスなどを生み出していくことを目指して、誰もが気軽に利用できる空間や新たな活動への刺激を得られる場にしていくことを基本の方向性とします。

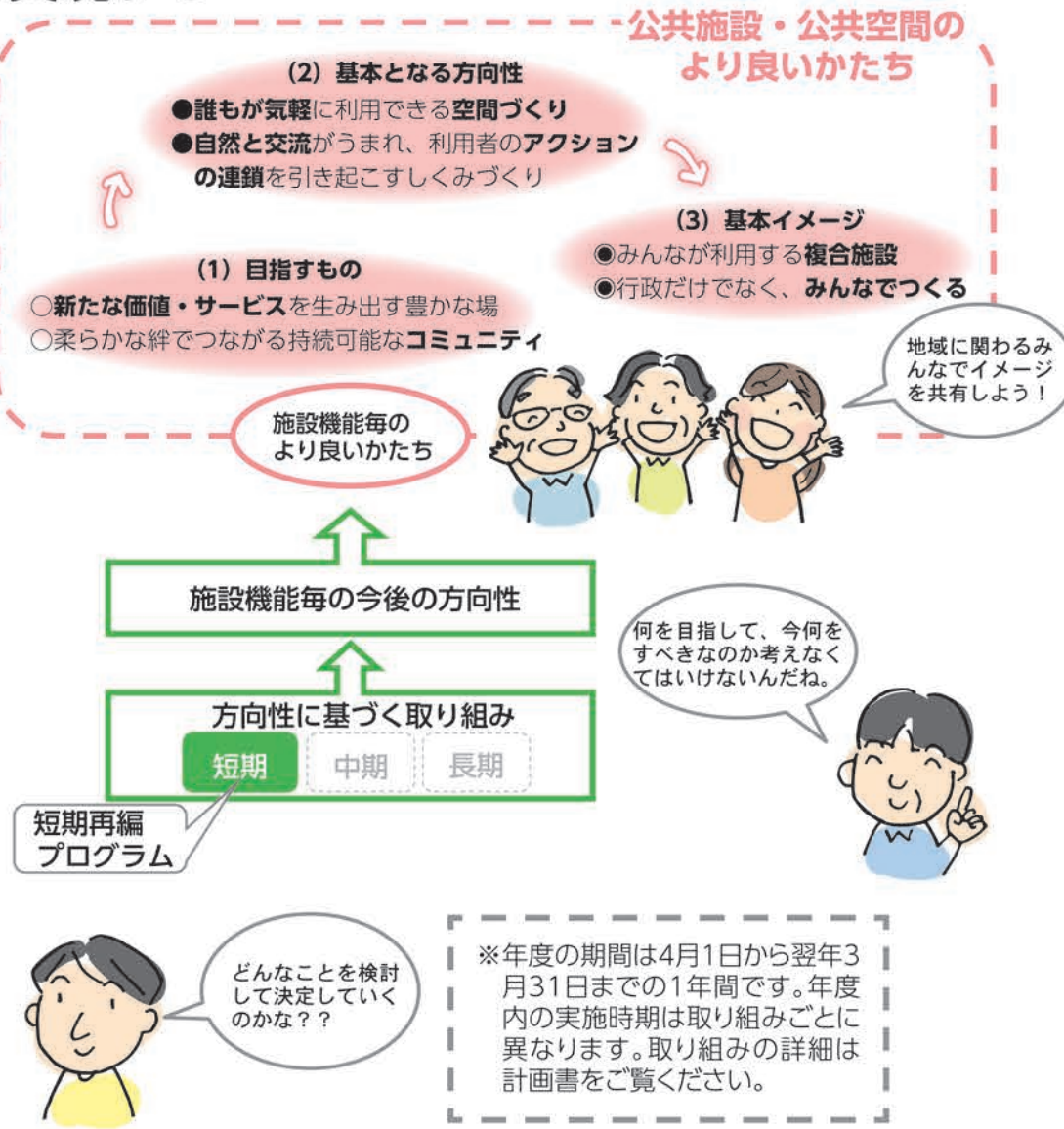
これらの基本となる方向性やその一例である基本イメージをベースとしながら、事業やサービスの特性を反映し、地域特性も考慮しながら再編を進めていきます。

26施設機能毎の今後の方向性と短期再編プログラム

学校や図書館、スポーツ施設など公共施設を26種類に分類し、施設機能毎に今後の方向性を示しました。また、時期別の取り組みを設定し、着実に実行していくことで公共施設・公共空間のより良いかたちを実現していきます。直近9年間（短期）に行う取り組みは、より具体化し、短期再編プログラムを作成しています。

短期再編プログラム 9年間のスケジュール

26の施設機能毎に9年間で行う取り組みをスケジュールで示します。このスケジュールに基づいて、取り組みを推進していきます。



施設機能 (主な担当部)	今後の方向性	9年間の取り組み	短期再編プログラム (年度)											
			2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026			
A 庁舎・窓口施設等 (市民部・財務部)	集約化により建物の総量を圧縮する一方で、維持する建物については、複合化・多機能化や長寿命化により地域拠点としての機能強化を図る。	機能再配置案の検討・策定 機能再配置案に基づく管理運営手法の検討・実施 市庁舎内の有効活用	検討	策定										
B 集会所 (市民部)	集約化や複合化・多機能化により建物の総量の圧縮や地域の活動拠点の強化を図るとともに、管理運営手法等の見直しを実施することで、新たな交流や活動の場を維持し、豊かで持続可能な地域社会づくりを進める。	機能再配置案の検討・策定 機能再配置案に基づく管理運営手法の検討・実施	検討	策定										
C 図書館 (生涯学習部)	集約化や複合化・多機能化により建物の総量を圧縮しつつ、地域の活動拠点に機能を移転することで、図書館に接する機会や図書館を通じた交流の機会を増やす。また、市民等の活力を活かした図書館に関連する新たなサービスにより、図書館に親しむ機会や場の充実に目指す。	施設再編案の検討・決定	検討・決定											
D 学校 (学校教育部)	年少人口の減少が見込まれる中でも、児童・生徒が良好な学習環境で学べるよう、段階的に必要な適正規模・適正配置を実施する。また、学校施設の適正な維持・管理のため建物の長寿命化や計画的な建替えを実施する。さらに、学校施設の有用活用や他機能との複合化・多機能化等により、多様な人々が交流し活動する場を創出し、愛着ある地域拠点施設とする。こうした取り組みを通じて、建物の総量圧縮を図る。	適正規模・適正配置実行計画の策定	実行計画の策定			学校再配置の調整								
		複合化の検討	検討											
		大規模改修・建替えの実施	鶴川第一小学校の建替え					その他の学校の 大規模改修または建替え						
E 保育園・子ども発達センター (子ども生活部)	複合化・多機能化により建物の総量を圧縮しつつ他機能との連携をさらに深めることで魅力的な場づくりや充実した支援を行う。	民間活力の導入 (子ども発達センター)	導入方法の検討・決定		導入									
F 学童保育クラブ (子ども生活部)	地域の拠点となる学校に複合化・多機能化することで、建物の総量圧縮を図る他、学校施設の活用により多様な活動が可能となり、魅力が向上する。	複合化・改修 (校舎内移転)の実施	[町田市5ヶ年計画17-21]に基づく改修4ヶ所・複合化1ヶ所			改修・複合化の継続実施								
G 子どもセンター・子どもクラブ (子ども生活部)	複合化・多機能化や市有財産等の活用により建物の総量を圧縮する一方、他機能との連携をさらに深めることで、子どもや地域への愛着を育む健全な成長と乳幼児の子育て支援の場の維持や魅力向上を図る。	子どもクラブの整備	小山中学校区建設工事・開館	つくし野中学校区開館	1地区建設工事	1地区建設工事	鶴川第二中学校区建設工事	鶴川第二中学校区開館						
H 高齢者福祉施設 (いきいき生活部)	地域の活動拠点となる施設へ機能を移転することで、建物の総量圧縮を図るとともに、身近な場所であり多くの人がサービスを受けられる機会を増やす。	事業内容と職員体制の見直し		検討	検討・決定	検討結果に基づく見直し策の実施								
I 障がい福祉施設等 (地域福祉部)	市有財産の活用のほか、民間によるサービス提供の活用や民間の移行等により建物の総量圧縮を図りつつ、公共の福祉施設に限らず障がいのある人となない人がともに育ち、働き、暮らすことができる場を維持していく。	民間活力の導入の検討 (ひかり療育園)	事業内容見直し・民間活力活用策の検討・決定		事業者の選定	事業への民間活力の導入								
		耐用年数到来に向けた検討 (はるかぜ)		検討	法人との調整									

再編計画がお手本とする計画って!?

再編計画は、公共施設等総合管理計画（基本計画）の4つの基本方針に基づいています。

- ① 健全に維持管理できる施設総量（総延床面積）に減らす。原則、廃止を伴わない施設の新設は行わない。施設の建替えを行う際は、施設の複合化・多機能化を進める。
- ② 建物にかかる総コストを減らす。
- ③ 市民、民間事業、他自治体など様々な主体と連携する。
- ④ 既存の施設や土地を有効活用する。



施設機能 (主な担当部)	今後の方向性	9年間の取り組み	短期再編プログラム (年度)												
			2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026				
J 生涯学習施設 (生涯学習部)	施設の複合化・多機能化を図ることや特定用途に限定された施設の見直しにより建物の総量を圧縮する一方、既存施設の活用をはじめとした地域での事業展開により、身近な場所で生涯学習に触れられるようになる他、市民が学習を通して得た知識や技能を地域で活かすことで、地域の活力が生まれる。	生涯学習センターの役割や事業内容の見直し 管理運営手法の方針決定 陶芸講座の方向性の検討・決定				役割の明確化 事業内容の見直し 検討	方針決定								
K 保健施設 (保健所)	集約化や市有財産等の効果的な活用により建物の総量圧縮や施設利便性の向上を図る。	地域での健診実施検討 施設の有効活用		検討											
L 文化ホール施設 (文化スポーツ振興部)	集約化により建物の総量を圧縮する一方で、建物の長寿命化や民間ノウハウを効果的に取り入れ、施設の一層の有効活用等により、文化芸術に関する活動の場の維持や活性化を図り市の魅力を向上させる。	収益性向上に向けた検討・実施 施設の活用検討・実施 市民ホール大規模改修実施検討					検討・実施								
M 美術館・博物館等 (文化スポーツ振興部・生涯学習部)	集約化や複合化・多機能化により建物の総量圧縮や施設の魅力を向上を図る。また、アトリウム展示等により文化や芸術等に触れる機会を増やす。	(仮称) 国際工芸美術館開館						開館							
		国際版画美術館と(仮称) 国際工芸美術館の一体的な管理運営手法及び運営者の決定	管理運営手法の検討	決定		運営者の検討	決定								
		博物館の閉館・収蔵品の移管及びび活用				閉館 (展示終了)									
		工芸美術作品の移管準備													
		工芸美術作品以外の収蔵品の移管、他施設での展示・活用													
N スポーツ施設 (文化スポーツ振興部)	集約化や市有財産等の活用により建物の総量を圧縮しつつスポーツ活動の場や機会を確保し、民間ノウハウを効果的に取り入れることでさらなる魅力向上や運営の効率化を図る。	既存施設や遊休地の活用 学校温水プール開放制度見直し 総合体育館の改修 室内プールの改修及び温浴施設の整備	学校跡地活用1件			調整池活用1件	学校予定地活用1件			その他遊休地の活用検討					
O 防災施設 (防災安全部)	災害から市民の生命を守るための施設として、適切に維持していくために長寿命化する。既存施設を有効に活用することで不足する防災施設を充足する。	災害備蓄倉庫施設修繕計画の検討・実施 公共施設の余剰スペースや民間倉庫の情報収集・活用 消防器具置場の建替え					情報収集・活用								
P その他集会所 (市民部)	地域の自主的な維持管理に移行することで、町内会・自治会が所有する集会所と同様に、効果的・効率的な運営を目指す。	支援制度のあり方検討								検討					
Q その他教育施設 (学校教育部・政策経営部)	市有財産として積極的な活用を図ることで、新たなサービス機能を提供する場や収入源とする。	教育センターの機能とスペースの見直し 旧忠生第六小学校の活用検討・実施		検討		活用				準備					
R その他高齢者福祉施設等 (いきいき生活部)	民間によるサービス提供への移行や、複合化・多機能化・市有財産の活用等で建物の総量圧縮を図る。	デイサービス、在宅サービスセンターのあり方の検討	あり方の検討				施設毎の調査・研究			実施			施設毎の調査・研究		
S その他展示等施設 (文化スポーツ振興部)	文化財は適切に維持保全していく一方、その他の展示施設は市有財産の活用により建物の総量を圧縮する。	計画に合わせた方向性の検討(フォトサロン)			2022年度以降の方向性の検討		決定								
T 市営住宅 (都市づくり部)	適正かつ効率的な維持管理を行い建物の長寿命化を図る。建物の大規模改修や建替えの際は、社会状況に合わせた更新をする。	[町田市市営住宅等長寿命化計画]の実施												計画見直し・策定	
U 医療施設 (町田市民病院)	市民の生命を守るための施設として、効率的かつ適切に維持していく。	大規模改修に向けた検討												準備・検討	
V レクリエーション・観光施設 (子ども生活部・経済観光部)	事業の見直しや複合化・多機能化等により建物総量の圧縮を図る一方、民間や市民等の活力によりさらなる魅力向上や運営の効率化を図る。	大地沢青少年センターの民間活力の導入 ひなたの民間活力の導入 七国山ファーマーズセンターの活用					導入						改修	四季彩の杜北園開園 (未定)	
W 産業系施設 (経済観光部)	事業の見直し、複合化・多機能化、さらなる民間活力の導入により施設総量の圧縮を図る他、さらなる収益の増加や運営の効率化を図るとともに賑わいや交流を創出する。	町田新産業創造センター施設複合化	建替え・複合化に関する方向性の検討		決定										
		プラザ町田運営効率化		効率化に向けた検討											複合化検討
X 供給処理施設 (環境資源部)	生活に必要な施設として、効率的かつ適切に維持していく。	熱回収施設等の整備・運営													
		資源ごみ処理施設の整備 排水浄化センター改修					検討・方針決定								
		堀川クリーンセンター(水処理)移転改修 堀川クリーンセンター(旧管理棟)活用	移転改修工事												稼働
Y 下水道施設 (下水道部)	人々の暮らしや衛生環境の確保に直結する施設として、効率的かつ適切に維持していく。	アセットマネジメントの推進													
		設備調査・劣化予測													
Z 駐車場・自転車等駐留場 (道路部・経済観光部)	さらなる民間活力の導入により効率的かつ必要に見合ったサービス提供を行う。施設更新の際は、土地の貸し付け、整備、長期の維持管理までを含めた民間活用を検討する。	自転車駐車場更新を見据えた指定管理者選考等 原町田一丁目駐車場運営コスト削減	検討・選定												
		原町田一丁目駐車場建替え													検討・実施

再編における基本的な考え方

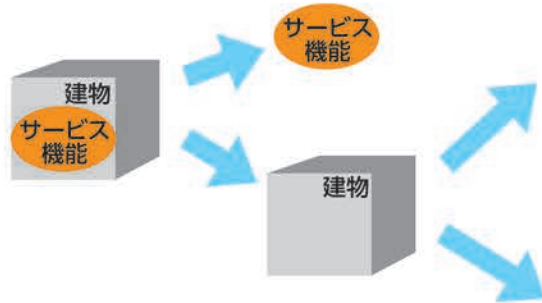
公共施設を「建物」とそこで提供されている「サービス・機能」に一旦切り離して考えます。

●サービス・機能についての考え方

社会状況等の変化なども十分に考慮し、時代に見合った、行政が提供すべきサービスの量・質の適正化を図っていきます。

●建物についての考え方

維持・更新費の予測から考えると、建物の総量を減らさないと適切な維持管理はできません。そこで、今後も継続して「維持していく建物」とそれ以外に区分して考えます。維持する建物ではない場合は、今後も維持する機能を他の建物に移転します。



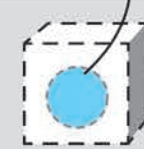
今後も継続して「維持していく建物」

- ・多様なサービスや活動の拠点とするためにふさわしい
- ①立地 ②建物の大きさや敷地面積があること
- ・廃止することができない機能を提供する施設であり、かつ既存施設の立地から機能を移転することが困難なもの



・複合化・多機能化し、**多様なサービス・活動の拠点**とする。

それ以外(維持しない建物)



・必要な**機能の移転**を図る。
・移転後の土地・建物は有効活用や収入確保等の取り組みを行う。

みんなで再編を推進していく体制づくり

公共施設の現状や再編について、できるだけ多くの方々に知っていただく機会をつくっていきます。例えば、人を集めて会合を開催するだけでなく、文化、スポーツ活動など幅広い世代が集まる場所に訪問し、周知活動を行います。

また、庁内横断的な委員会を設置し、全職員を挙げて、この取り組みに臨んでいきます。

計画を推進していくためには、**市民の皆様や事業者の皆様と市と一緒に考え、実行していくことが不可欠です。**各取り組みの初期の段階から対話・意見募集・ワークショップ等を行いながら、より良いかたちの実現に向けてみんなで再編を進めていきます。



みんなで取り組んでいくことだから、みんなが知ること、考えること、一緒になって行動していくことが大切なんだね。



一緒に取り組もう！

取り組みを進めるステップ



話し合おう！
参加しよう！



計画の進め方

「再編計画」は、2055年度までの計画ですが、取り組みを詳細化した再編プログラムは10年程度を期間として更新をしていきます。第1期の短期再編プログラムは2018年度～2026年度までの9年間です。今後、公共施設の老朽化状況や社会状況の変化等も考慮し適切な時期に見直しを行っていきます。

施設機能毎の方向性 2018～2055			
短期の取り組み 2018～2026 (第1期)	中期の取り組み 2027～2036 (第2期)	長期の取り組み 2037～2055 (第3期) (第4期)	
短期再編プログラム			

取り組みに関するお知らせ

シンポジウムの開催

- 日時 9月30日(日) 14:00～16:00
- 場所 生涯学習センター 7階ホール
- 内容 「町田市公共施設マネジメントシンポジウム
～みんなで描こう より良いかたち～(仮)」
- ①基調講演 特定非営利活動法人 日本PFI・PPP協会 寺沢 弘樹氏
- ②4名のパネルディスカッション
明治大学名誉教授 市川 宏雄氏、町田青年会議所直前理事長 小林祐士氏、寺沢 弘樹氏、町田市長 石坂 丈一
- 申し込み 広報まちだ9月1日号にてご案内します。

計画書の閲覧と販売

- 閲覧 計画書および概要版は町田市ホームページで公開しています。
- 販売 計画書は、市庁舎1階 市政情報課で販売しています。(1冊1,600円)



みんなのちからを合わせて、将来を見据え、次の世代にも引き継げる
**公共施設・公共空間の“より良いかたち”
を実現しましょう**



町田市公共施設マネジメント

検索

町田市公共施設マネジメントシンポジウム

～みんなで描こうより良いかたち～



町田市では公共施設の老朽化や厳しい財政状況を見通し、必要な公共サービスを将来にわたって維持していくため、公共施設の再編に向けた取り組みを進めています。

2018年7月、「みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画」を公表しました。町田市では、この公共施設の再編という、今までにない長期的かつ大きな取り組みを通じて、将来にわたってそこで暮らしている誰もが地域社会の中で誇りを持ち、豊かに暮らし続けられるまちをみんなで連携して作りたいと考えています。みんなで目標を共有しながら、一緒により良いかたちを描いていく一歩として、シンポジウムを開催します。

プログラム

1 14:05～14:15
計画紹介 「みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画」
 町田市 政策経営部 企画政策課

2 14:15～15:15
基調講演 「公共施設等を取り巻く環境と今求められる生き方」
 講師 特定非営利活動法人日本PFI・PPP協会・寺沢弘樹氏

略歴等：元流山市職員。公務員時代には2つのPPPによる第二世代の公共FMを掲げ、デザインビルド型小規模バルクESCO、包括施設管理業務委託、事業者提案制度などを実践。公務員を退職後、2016年度からは日本PFI・PPP協会業務部長として、実践的な自治体の公共施設マネジメントの支援や民間事業者への協力など、多様な活動を展開している。一級建築士、CFMJ認定ファシリティマネージャー

3 15:20～16:00
パネルディスカッション 「公共施設再編の意義 -みんなで描くより良いかたち-」



寺沢弘樹氏



明治大学名誉教授
市川宏雄氏



町田青年会議所
直前理事長 小林祐士氏



町田市長
石阪丈一

●日時：9月30日（日）14:00～16:00

●場所：生涯学習センター 7階ホール

※JR町田駅北口から徒歩約3分。公共交通機関でお越しください。

●申込み：イベントダイヤルへ電話またはインターネット申込み
 （TEL 724-5656 / コード 180830A）

※申込期間 8月30日（木）12:00～9月26日（水）

インターネット申込は
こちらから↓

